

日時・会場	平成15年9月30日(火曜日)、午後1時15分から3時、東京航空交通管制部
主催・後援	電子情報通信学会東京支部
プログラム	<p>(1) 概要説明:ビデオ鑑賞 空を飛ぶ航空機に対して、交通の安全と円滑な流れを維持する仕事。必要とする気象情報や航空保安施設の状況、乱気流情報等を知らせる仕事。東京ドームの1.5倍の広さ、約600人で空の安全を守っているとのことでした。</p>   <p>(2) 管制運用室見学 航空管制業務は大きく分けて空港で行う管制業務(飛行場管制、進入管制、着陸誘導管制、ターミナル管制)とこの航空交通管制部で行う管制業務(航空路管制、進入管制)に分けられます。航空路情報提供業務は、札幌、東京、福岡、那覇の各航空交通管制部において実施されています。</p>  <p>(3) システム統制室見学 4管制部及び主要空港に導入され、レーダー、コンピューターシステム、航空保安無線施設、対空通信無線施設など、航空管制に使用する無線関係施設の運用形態の変更、保守点検などについて調整・承認を行い、その運用状況を一元的に24時間体制で監視し、異常や故障に際しては関係機関と連絡調整を行うと共に、適切な指示を与え、航空無線関係施設の運用・保全を円滑に行う業務です。</p> 
私見	<p>*参加者が約20名、総務課の稲塚さん、学会の案内の方々に御世話になりました。 *成田・羽田等の各空港での管制以外の全ての空の安全を管理、この東京(約50の空港)以外は札幌、福岡、那覇の各航空交通管制部が担当している。 *管制運用室の見学は見学用のガラス窓越しに見た。北:関東~山形、東:関東~名古屋、西:名古屋~四国のグループ毎に分かれて担当しており、レーダからの位置情報等を監視し航空機を統制管理しているとのこと。 *システム統制室見学は、レーダ上に上空に多数の航空機の高度・行き先・速度等の表示された画面が見た。航空機との通信はどの飛行機とも通信しなければならないので古いAM方式が使用されているとのこと。</p>
資料	パンフレット及び <a href="http://www.ates.tacc.go.jp/guide/guidtacc.htm">http://www.ates.tacc.go.jp/guide/guidtacc.htm</a> 参照